



～御前岩へ強歩大会！

同日、水産科代表生が全国研究発表大会へ出場～

《強歩大会》

今年で53回目を迎える、本校の伝統行事『強歩大会』が12月13日に開催されました。強歩大会は、『心身の鍛練』と『仲間との絆を深める』ことを目的として、昭和46年に「校内マラソン大会」から変更したのが始まりです。

当時は『鷲子山上神社』往復だったようです。その後、男子22キロ・女子14キロの坂道が多いコースを一日かけて行う時期を経て、近年は13キロを強歩していました。コロナ禍が落ち着きをみせた昨年度からは、交通事情等により、一般の道路で順位を競う強歩が難しくなりましたが、伝統ある本校の行事を絶やすことなく今年は「競争をしない強歩」とし、那珂川町の名所を知って貰うことも目的の一つとして『御前岩』への強歩としました。

当日は今期一番の寒さでしたが、3年生を先頭に約12キロのコースを全校生徒が「強く歩き」クラスメイトとの絆を一層深めました。御前岩では、クラス・学年を超え観光名所を眺めたり川岸で遊んだりと思い思いに休憩し、安全に楽しく帰路に向かいました。今後も様々な工夫を凝らしながら、本校の伝統行事として引き継いでいこうと思います。



《全国水産系高校生徒研究発表大会》

奇しくも強歩大会と同日に、全国水産系高校生徒研究発表大会が静岡県の三谷水産高校で行われました。本校は関東東海地区大会において最優秀賞（1位）を獲得し、堂々の出場となりました。海を主戦場とする高校など、全国7地区から計11校が出場する中、水産科3年の渡邊 圭人君、森 悠雅君、2年の菊池 岳丈君の3名が、「巨石の有無が上中流域の内水面漁場に与える影響」と題した研究を発表し、奨励賞を頂きました。



本校は、2年時から生徒たちが疑問に持った様々な研究を行っており、全国大会には過去にも出場しています。来年も全国大会出場、そして最優秀を目指し頑張ります。

